

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【公表番号】特表2007-504296(P2007-504296A)

【公表日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-008

【出願番号】特願2006-524639(P2006-524639)

【国際特許分類】

C 0 9 K 19/02 (2006.01)

C 0 9 K 19/54 (2006.01)

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

【F I】

C 0 9 K 19/02

C 0 9 K 19/54 Z

G 0 2 F 1/13 5 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

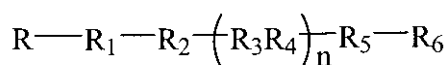
【特許請求の範囲】

【請求項1】

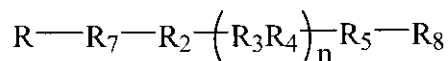
a) コレステリック液晶化合物またはコレステリック液晶前駆物質と、

b) 式(I)または式(II):

【化1】



(I)



(II)

(上式中、

nは1または2であり、

Rはアクリレートであり、

R₁は(C₃-C₆)アルキレンであり、

R₂は-O-であり、

R₃はフェニレンであり、

R₄は-C(O)O-または-O(O)C-であり、

R₅は結合またはフェニレンであり、

R₆はシアノまたはFであり、

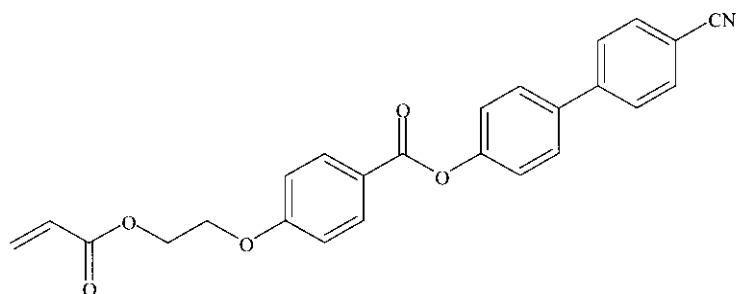
R₇は(C₁-C₂)アルキレンであり、

R₈はF、CF₃、メトキシまたはブトキシである）

の化合物と、

を含むコレステリック液晶組成物であって、前記コレステリック液晶組成物はキラル分子単位とアキラル分子単位を含み、前記アキラル分子単位が式（C2）：

【化2】



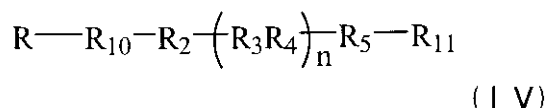
(C2)

の化合物である、コレステリック液晶組成物。

【請求項2】

a) コレステリック液晶ポリマーを式（IV）：

【化3】



（上式中、

nは1、2、3、または4であり、

Rはアクリレート、メタクリレート、アクリルアミド、イソシアネート、エポキシ、またはシランであり、

R₁₀は（C₁-C₈）アルキレン、（C₁-C₈）アルケニレン、または（C₁-C₈）アルキリンであり、

R₂は結合、-O-、-C(O)O-、-O(O)C-、-OC(O)O-、-C(O)N-、-CH=N-、-N=CH-、または-NC(O)-であり、

R₃はシクロアルキレン、シクロアルケニレン、ヘテロシクリレン、アリーレン、またはヘトロアリーレンであり、

R₄は結合、（C₁-C₈）アルキレン、（C₂-C₈）アルケニレン、（C₂-C₈）アルキリン、カルボニル、-O-、-C(O)O-、-O(O)C-、-OC(O)O-、-C(O)N-、-CH=N-、-N=CH-、または-NC(O)-であり、

R₅は結合、シクロアルキレン、シクロアルケニレン、ヘトロシクリレン、アリーレン、またはヘトロアリーレンであり、

R₁₁は水素、シアノ、ハロ、（C₁-C₈）アルコキシ、（C₁-C₈）アルキル、ニトロ、アミノ、カルボキシ、メルカプト、（C₁-C₄）チオアルキル、COCH₃、CF₃、OCF₃、またはSCF₃である）

の化合物と組み合わせ、

b) 前記コレステリック液晶ポリマーおよび式（IV）の化合物を基材上に配置し、

c) 前記コレステリック液晶ポリマーを配向させてコレステリック液晶フィルムを形成

すること、
を含み、前記、コレステリック液晶混合物が5～20重量%の式(IV)の化合物を含む
コレステリック液晶フィルムの形成方法。